

2018 年度天スタ杯/NFA スーパーカップ 開催要項

〔兼/高円宮杯 JFA 第 30 回全日本 U-15 サッカー選手権大会 奈良大会〕

1. 趣 旨 (一社)奈良県サッカー協会は、次代を担うU-15 年代の技術向上と健全な心身の育成を図ることを目的とし、第3種年代の加盟チームすべてが参加できる大会として、本大会を実施する。
2. 大会名称 2018年度天スタ杯NFAスーパーカップ
〔兼/高円宮杯JFA第30回全日本U-15サッカー選手権大会奈良大会〕
3. 主 催 (一社)奈良県サッカー協会
4. 主 管 (一社)奈良県サッカー協会 第3種委員会
5. 後 援 奈良県教育委員会
6. 協 賛 (株)モルテン
8. 特別協賛 天理スタミナラーメン
7. 期 日 2018年9月24日(月祝)・9月30日(日)・10月6日(土)・8日(月祝) 予備日9月29日(土)・10月7日(日)・10月10日(水) ナイター
8. 試合会場 奈良県フットボールセンター・その他県内会場
9. 参加チーム 高円宮杯U-15サッカーリーグ 2018NFA サッカーリーグ1部リーグの1位と複数チームを除く8チーム、同2部リーグの上位3チーム、同3部リーグの上位1チーム。複数チームの出場は認めない。2部リーグの繰上げは、第5位まで。3部リーグの繰上げは第3位までとする。
10. 参加資格 (1) (公財)日本サッカー協会に、2018年5月31日までに加盟登録された第3種単一チームであり、次の条件を満たしていること
(2) ① 上記(1)のチームに2018年8月31日までに登録された選手であること。ただし、一家転住等の理由により上記期限以降に移籍または追加登録した選手が大会参加を希望する場合は、第3種委員長の別途了承のもと大会への参加が認められる。なお、予選から本大会に至るまでに、同一選手が異なるチームへ移籍後、再び同大会に参加することはできない。
② (公財)日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一「クラブ」内の別チームに所属する選手を移籍手続きすることなく本大会に参加させることができる。なお、本項の適用対象となる選手の年齢は第4種年代とし、第3種及びそれ以外の年代の選手は適応対象外とする。
(3) 選手数が不足している同種別の複数チームによる「合同チーム」の大会参加については、次の条件を満たしている場合のみ認めることとする。但し、11名以上の選手を有するチーム同士の合同は、不可とする。
① 合同するチーム及びその選手は、それぞれ(1)および(2)①を満たしていること。
② 極端な勝利至上主義を目的とする合同でないこと。
④ 大会参加申し込みの手続きは、それぞれのチームの代表者が協議の上、代表チームが行う。
⑤ 合同チームとしての参加を第3種委員長が別途了承すること。
(4) 共通理解事項として、以下の条件を確認しておく
① 登録完了日とは、(一社)奈良県サッカー協会事務局の承認日であること。
② チームとして、有資格審判員の帯同が可能であること。(最低1名)
11. 競技方法 (1) トーナメント方式により、優勝以下第3位までを決定する。
(2) 試合時間は80分(40分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバルは10分とする。80分で勝敗が決しない場合は、ペナルティキック方式により決定する。但し準決勝・決勝戦においては、5分間の休息のあと20分(10分ハーフ)の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティキック方式により、優勝を決定する。
12. 競技規則 (1) 最新の(公財)日本サッカー協会、「サッカー競技規則」による。
(2) 選手交代
大会参加申込み(エントリー)した最大25名の選手のうち、最大9名までが主審の許可を得て交代することができ、「再交代」は実施しない。
ベンチ入りできる人員はエントリー選手(最大14名)とスタッフ5名までとする。
(3) 退場処分を受けた者、または警告を2回(累積)を受けた者は、次の1試合に出場できない。決勝戦での退場処分選手は第27回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会関西大会の一回戦に出場できない。それ以外に、処遇を規律委員会(西岡一也委員長)にて審議、決定する場

合がある。

NFAリーグ最終戦で退場処分を受けた選手、もしくは複数試合の出場停止処分が未消化の選手は、本大会に持ち越す。

- (4) 飲水タイムや気候によりクーリングブ레이크を設ける。ただし、天候、その他の状況により本部、ならびに主審の判断で設けない場合がある。
- (5) 日没、雷等により試合続行が不可能と判断された場合は、サスペンデッドゲームとし、後日試合を中断する前の状態から再開する。したがって、両チームの出場メンバーは原則として変更することが出来ない。ただし、中断前の試合で出場していた選手が続行試合当日にけがや疾病などを理由に出場できない場合など、不可抗力による選手交代は交代メンバーの中で認められる。交代メンバーの補充も同様とする。尚、雷等の場合、中断時間は60分を目安とする。その判断は、主審が会場責任者と協議の上、決定する。

13. 表彰 優勝以下第3位までに表彰状、トロフィーを授与する。本大会の優勝チームには、関西大会への出場権を与える。

14. その他 (1) チーム代表者は必ず第1試合の開始60分前（各会場にて変更可）に本部に集合し、運営にあたること。但し、競技場の準備等（補助員等）については、別に会場担当及び大会本部より連絡をすることがある。

(2) 選手のエントリーは、所定の用紙を使用し行うこと。チームの初戦打合せ時に、本部へ1部提出しチェックを受ける。以後、チェックを受けたエントリー用紙の複写を各試合のエントリーメンバー票とする。また各試合30分前までにエントリーメンバー票の先発メンバーに[O]印をつけ、本部に2部（会場により3部）提出すること。エントリー時に背番号を記入し、大会を通して固定番号とする。

(3) ユニフォーム規定は以下のとおり。

- ① 選手はすべて同一の服装であること。
- ② ゴールキーパーの服装は他の選手と区別できる服装であること。
- ③ ユニフォームは色違いのものを2着用意すること。同系統色が重なった場合、コイントスの上の方のチームにユニフォームの変更を求める。
- ④ ユニフォームの広告表示については、日本協会「ユニフォーム規定」に基づき、承認された場合のみこれを認める。ただし、日本中学校体育連盟加盟チームは、連盟規定によりこれを認めない。
- ⑤ シャツの前面・背面に登録した番号を付けること。ショーツの番号は、付けることが望ましい。

(4) 各チームの登録選手は、原則としてJFA発行の選手証（電子選手証）を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。

※電子選手証とは、JFAのWEB登録システム「KICKOFF」から出力した「登録選手一覧」（番号順）をカラー印刷したものを原則とする。

(5) 審判は必ず審判服を着用すること。また試合開始30分前に到着し、審判団として打ち合わせを行うこと。主審は審判報告書を作成した上で、審判委員長まで提出すること。予備審も試合前に指名しておく。なお、審判は有資格者で有り、審判手帳（カード）を携帯し提示すること。

(6) マッチコーディネーターをおくこと。第三者的立場の派遣役員に依頼することが望ましいが、無理な場合は、その会場の役員の中から指名する。

- ・ 試合運営の総括責任者である。・ グラウンド状況の把握。
- ・ 試合運営状態、試合進行状況の把握とチェック。
- ・ 選手の態度のチェック。 ・ 審判員のチェック。
- ・ 悪天候や試合におけるトラブルが発生した場合、審判団、役員と協議の上で試合続行の可否について最終判断を下す。

(7) 大会期間中の負傷及び疾病については、各チームで対応し、主催者はその責を負わない。各チームの責任において、参加者全員が傷害保険に加入していること。

(8) 試合球はJFA公認5号球（モルテン社）を使用する。

(9) 敗退したチームの関係者は、次回戦に進出すべき予定ゲームまたは、関西大会の競技役員及び審判を務めなければならない。(補助員の場合も含む)

(10) 出場資格を得ながら辞退するチームがある場合は、繰り上げる場合がある。